

保護者の皆さまへ

「子どものインターネット利用について」

村山教育事務所 小林智佳子

インターネット社会は、大人だけでなく子どもたちの生活にも広がっています。パソコンだけでなく、携帯電話、スマートフォン、ゲーム機、音楽プレーヤーからも利用でき、保護者の知らない間に子どもが自分でインターネット接続していた、というケースもよく耳にします。

インターネットを子どもたちが正しく利用するためには、保護者の皆さんがネット社会を正しく理解し、生活リズムをコントロールしたり、内容を把握したりしておく必要があります。

◇ 有害サイト対策

インターネットには子どもにとって有害な情報が多くあります。

18歳未満が利用するパソコンや携帯電話には、アクセス制限サービス（フィルタリング）等で有害情報から保護することが義務付けられています。

※ 携帯電話の場合、電話会社が提供するサービスがあります。

※ パソコンやスマートフォン、ゲーム機等では、フィルタリングソフト等を利用して、保護者自身が設定してください。

※ ゲーム機には、保護者による使用制限機能があるので活用しましょう。

◇ 「ゲームサイト」ってどんなところ？

オンラインゲーム等には無料で利用できるものが多く、子どもたちにも人気があります。フィルタリングをつけていても利用できるため、安全な場所と思ってしまいがちですが、遊び方によっては、アイテムにお金がかかったり、ネットに潜む“犯人”との接点になるなど、注意が必要です。こうしたサイトの大半では、「未成年の人は保護者と一緒に利用するように」と、保護者の見守りを求めています。

◇ 大人でも苦労しているインターネット

警察統計によれば、サイバー犯罪やインターネットトラブルに関する相談は、年々増える一方です。次から次へと手口が巧妙になるほか、インターネットの「匿名性」にまぎれた無責任な発言や、はじめから騙すつもりで張り巡らされたワナなど、判断が難しい場面も多いのです。

インターネットを正しく利用するために必要な力・・・「判断力」「責任力」「自制力」

大人でもこうした情報の判断は難しい。まして、子どもは？

インターネット上では、大人・子どもが区別されません。最後は、自己責任に戻ってきます。未成年の子の責任は、保護者の問題です。



◇ 携帯電話は安全のため？

子どもの登下校が心配、何かあったとき連絡がとれるように、防犯のために携帯電話を持たせたいという保護者の声が聞かれます。

でも、「親が安心＝子どもが安全」ではありません。インターネットができる機種なら、ネット上の不審者に遭う危険も生じます。

何かあったら親に電話！よりも、近くの大人に助けを求め保護してもらおうほうが早く安全が確保されませんか？

そうした判断と行動ができる子どもを育てるためにも、近所の人と日ごろから挨拶を交わし地域のつながりを持つこと。そうすれば子どもは、地域の大人に守られる安心を経験しながら成長することができます。

保護者として

ケータイを持つことは、契約行為
社会的・法的に厳しい責任が伴う

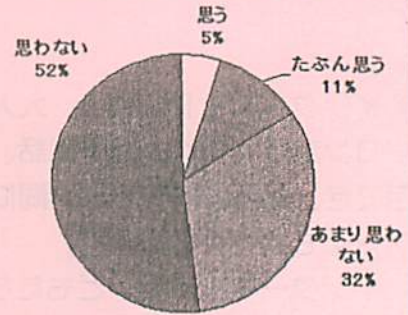


監護教育責任
(民法第820条)

親権を行う者は、
子の監護及び教育
をする権利を有し、
義務を負う

持つ者、持たせる者の
責任と自覚が求められるケータイ

子どもたちにききました
「携帯電話を持っていれば夜道を一人で歩いていても安全が守られると思いますか？」



合同会社ロジカルキットが実施したアンケート調査より

小中学校では児童生徒の携帯電話の持ち込みは原則禁止されています（全国共通）。また、生徒指導連絡会などでも、「子どもの生活に携帯電話は不要」という声が多く聞かれます。

子どもの姿を長年見てきた先生方の、プロの意見です。

便利さや楽しさの反面、学習を阻害したり、余計なトラブルに巻き込まれ学校生活がうまくいかなくなってしまう例は、少なくありません。

◇ パソコン、ゲーム、テレビ、ビデオ、DVD 等々・・・使用する時間をコントロールしましょう

子どもにテレビ、ビデオ、パソコン、ゲーム、ケータイなどの電子映像メディアに長時間接触させることには、様々な危険が指摘されています。食事中もテレビがついていて、メディアに触れていないのはお風呂と寝ているときだけ、という生活の子ども達もいます。

子ども期は、身体や心、言葉の力を育てる大切な時期です。

とくに、インターネットは24時間営業の世界です。やめられなくなり、ネット依存になって命を落とす例まで起きています。

テレビもゲームもケータイも、使う時間や使い方のルールを親子で確認してください。また、必要以上にだらだらと使わない習慣を、是非つけてください。

まずは、食事中のテレビをオフにすることから取り組んでみましょう。慣れれば、家族の会話が増え、外遊びの楽しさ、お手伝いなど、家族のコミュニケーションがきっと増えてきます。

～子どもを犯罪から守る＜加害者にも被害者にもしない＞ために
大切なのは、家族の・親子の コミュニケーション～